



経田地区

津波 ハザードマップ



【浸水開始時間の凡例】

0～1分未満	4～5分未満
1～2分未満	5分以上
2～3分未満	浸水想定ライン
3～4分未満	

※浸水開始時間とは、地震発生から浸水が始まるまでの時間をあらわします。

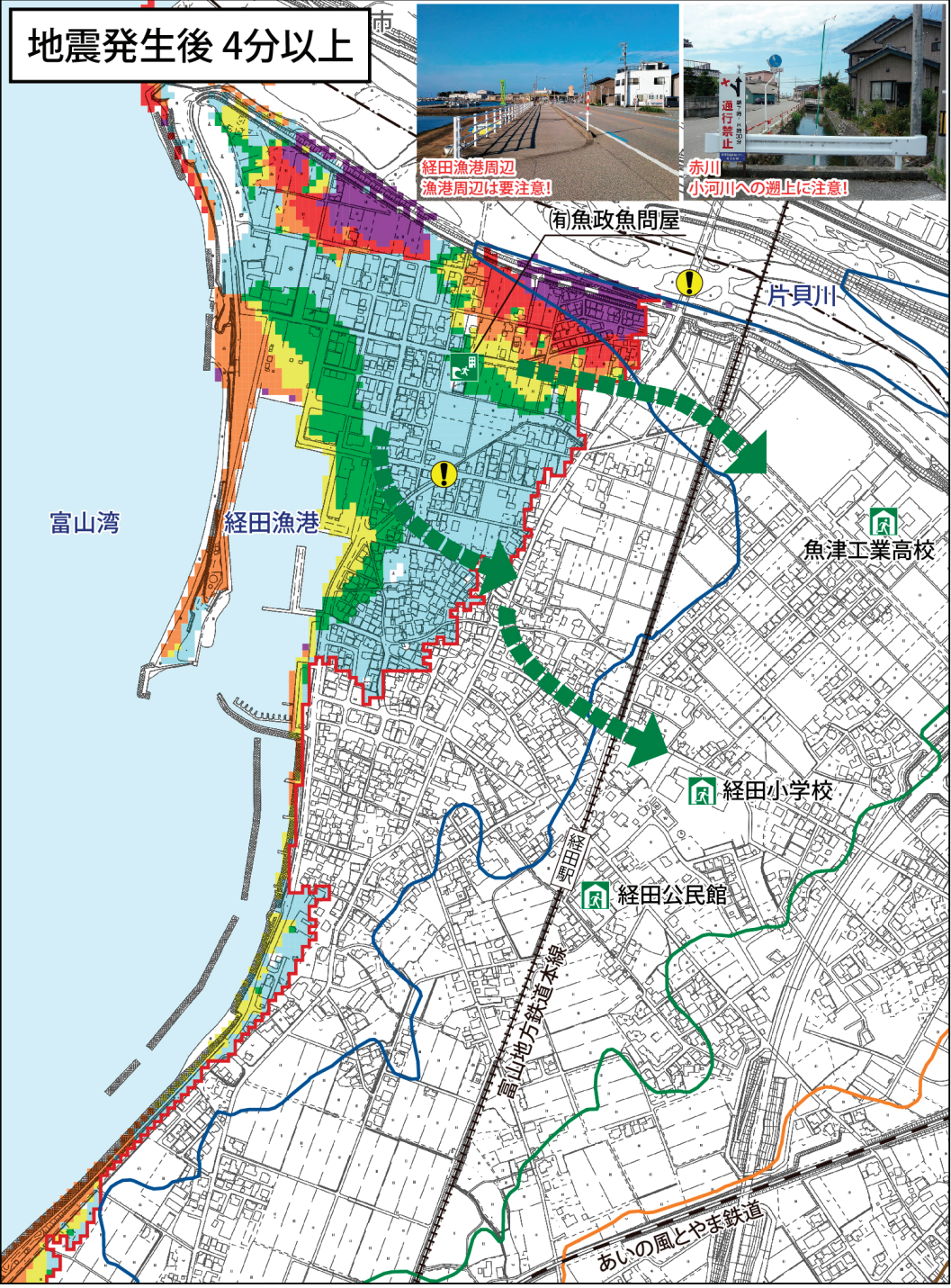
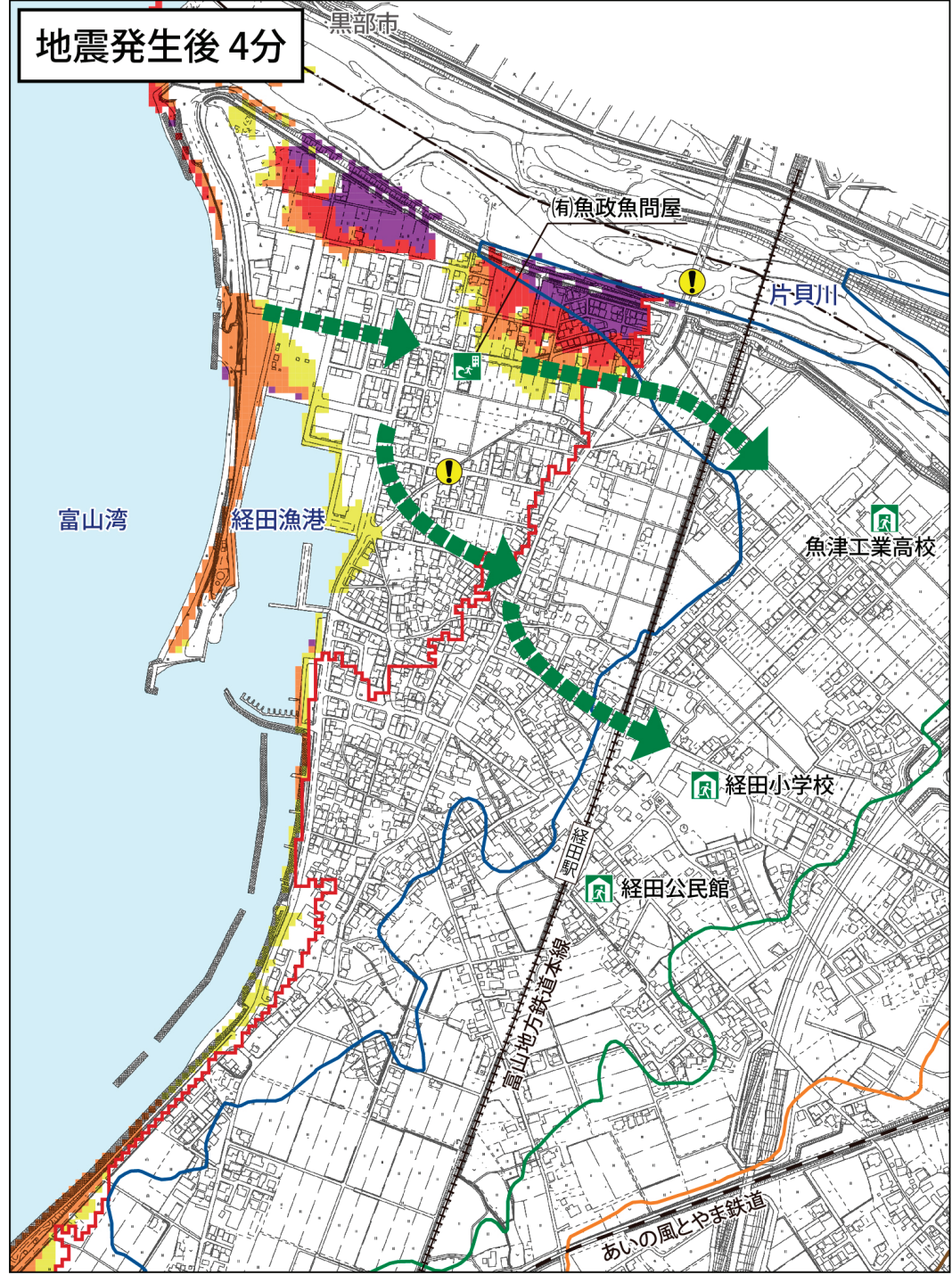
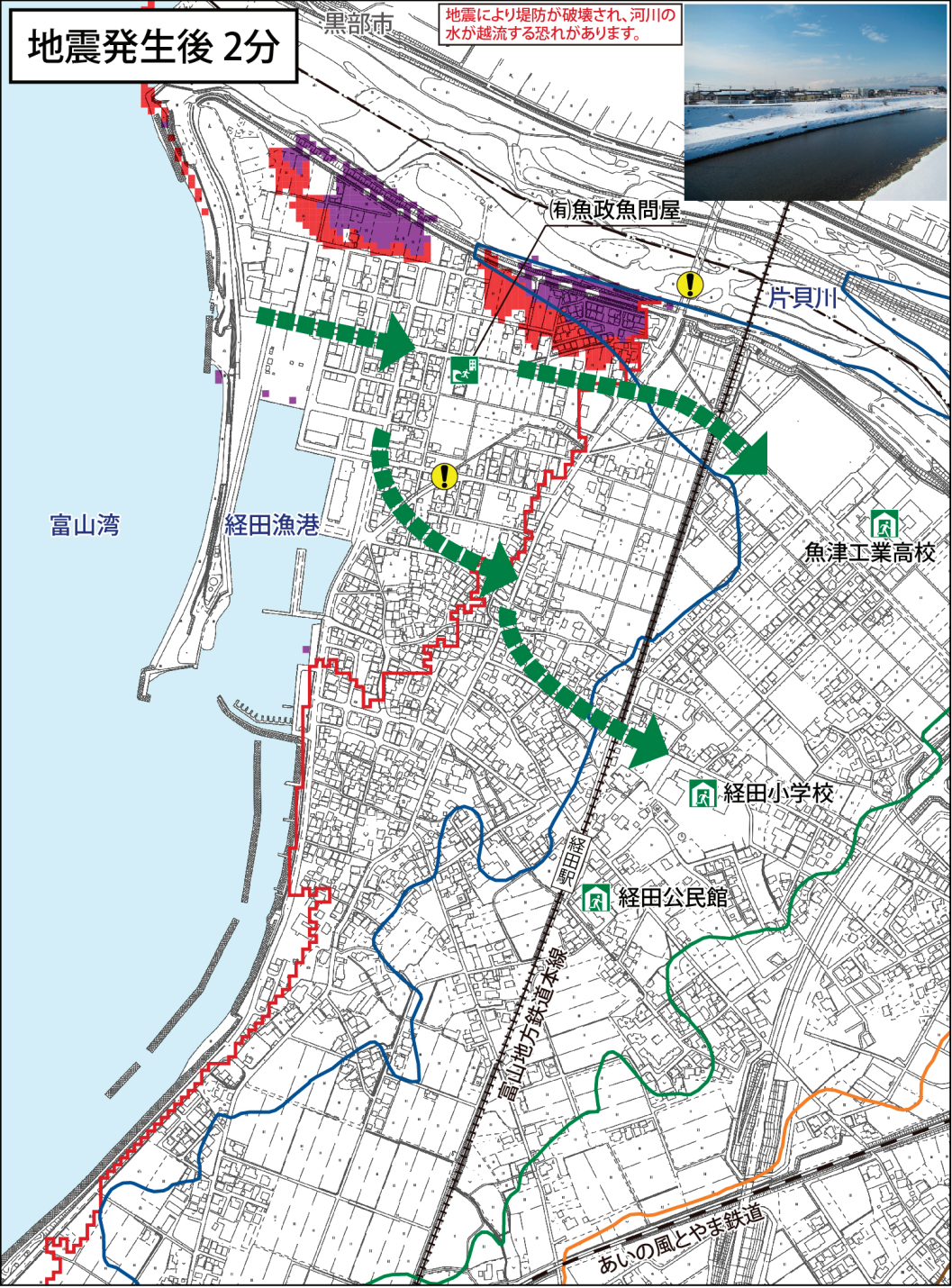
【海拔の凡例】

海拔 5m
海拔 10m
海拔 15m
海拔 20m

【施設等の凡例】

交番	指定避難所	
避難時の危険箇所	津波避難ビル	
行政機関	津波避難場所	
主な避難の方向	※津波の到達時間が非常に短いため、大津波警報・津波警報を見聞きした場合には、直ちに高い安全な場所へ避難してください。	

※地図上に示した海拔の線は国土地理院が提供する基礎地図情報(縮尺レベル25000)を基に作成したものです。



こちらの面は、地震が発生してから津波が到達するまでの時間を色分けしたものです。

地震が発生したらシェイクアウト(3つの安全行動)

まずは、身の安全を守ることが大事です!



まずひくく
DROP!



あたまをまもり
COVER!



うごかない
HOLD ON!

※効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(日本シェイクアウト提唱会議)より

津波に備えて

ライフジャケット・浮き輪等の身を浮かせることのできるものが有効です。

ライフジャケット	浮き輪	サッカーボール	2リットル空ペットボトル
----------	-----	---------	--------------

非常持出品の準備

リュック等に入れて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

貴重品	非常食	救急医療薬	懐中電灯	ラジオ
飲料水	衣類	ローソク・マッチ	タオル	ロープ

災害の状況や家族構成に合わせて、短期・長期避難の両方の災害に備えておきましょう。

とにかく海岸や河川から離れた高い場所へ避難する

水平避難

●浸水想定ライン(赤色)よりも山側へ避難するようにしましょう。

垂直避難

●浸水開始時間までに水平避難が困難な場合は、津波避難ビル(有魚政魚問屋)等へ避難しましょう。
●沿岸の方は、近くの頑丈な建物の上の階に避難しましょう。
●自宅にいて外に出る時間がない場合は、上の階へ避難しましょう。

避難経路

●地震発生後の片貝川からの越流に注意しましょう。
●片貝川、赤川等への津波の遡上に注意しましょう。
●目標とする避難先等をあらかじめ決めておきましょう。(電柱や家屋等の倒壊により経路がふさがれている可能性があります。何通りかの避難経路をあらかじめ考えておきましょう。)

※経田地区は、市内で最も浸水域が広くなると予想されています。

